

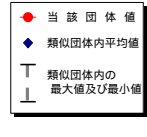
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

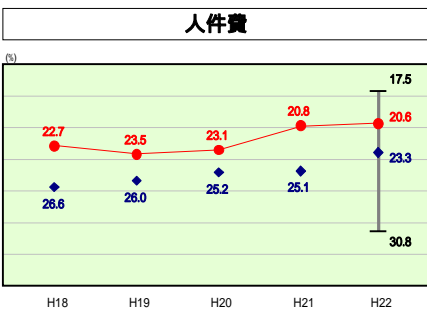
長野県伊那市

経常収支比率の分析

| | | | | | | | | |
|----|------------|-----------------|---|---|---|---|-------|-----|
| 人口 | 69,883 | 人(H23.3.31現在) | 実 | 赤 | 赤 | 事 | - | % |
| 面積 | 667.81 | km ² | 通 | 字 | 字 | 率 | - | % |
| 入出 | 32,865,348 | 千円 | 結 | 比 | 比 | | 17.6 | % |
| 歳入 | 31,682,167 | 千円 | 算 | 率 | 率 | | 125.8 | % |
| 歳出 | 1,071,243 | 千円 | 特 | 来 | 負 | 担 | | % |
| 標準 | 20,307,475 | 千円 | 市 | 町 | 村 | 類 | H18 | - 0 |
| 地方 | 35,444,704 | 千円 | (| 年 | 度 | 毎 | H21 | - 0 |
| | | | | | | | H19 | - 0 |
| | | | | | | | H22 | - 0 |

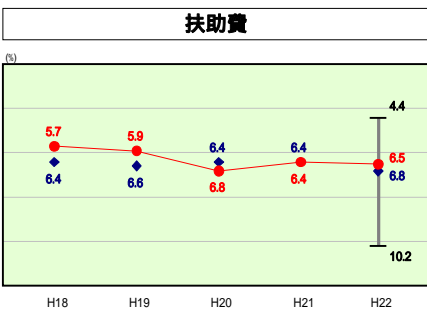


市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



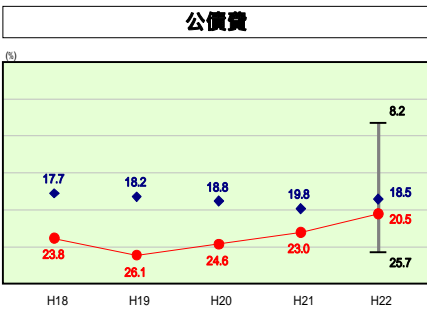
人件費の分析

昨年度より0.2ポイント減少し、類似団体平均を2.7ポイント下回っている。これは民間委託や臨時職員の活用により、人件費が物件費に移動したと思われるが、行政サービスを低下させることなく、福祉事業などの諸施策を充実させていくために、引き続き適正な人員配置を行っていく。
定員適正化計画に基づく職員削減は順調に進んでいる。市町村合併に伴い、給与制度全般についての見直しも行ってあり、職員数の減との相乗効果で、人件費は減少するものと見込んでいる。



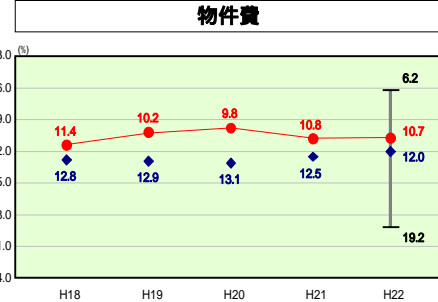
扶助費の分析

経常収支比率における扶助費は、前年度から0.1ポイントの微増で、類似団体平均を0.3ポイント下回っている。扶助費は生活保護費、子ども手当の増加などの特徴があるが、資格審査等の適正化や各種手当への特別加算の見直し等を進めていくことで、財政を圧迫する上昇傾向に歯止めをかけるよう努める。



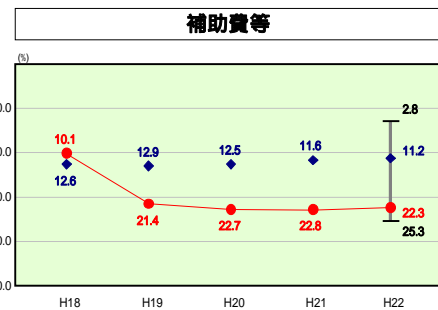
公債費の分析

近年大型の整備事業が集中したことにより、地方債の元利償還金が膨らみ、類似団体と比較して高い数値となっている。ただし、新規地方債の発行に当たっては、事業の優先度を十分検討した上で、交付税措置率の高い有利な起債を活用するとともに、毎年の借入額が元金償還額を上回らないようにしているため、平成19年度以降数値は減速している。



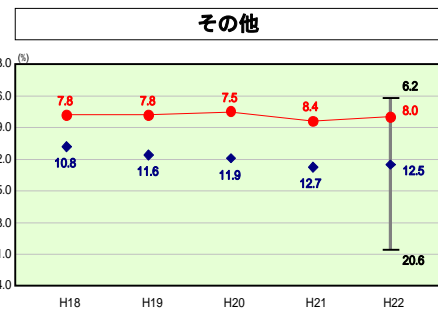
物件費の分析

前年度より0.1ポイント減少し、類似団体平均を下回っている。平成18年の市町村合併後、採用抑制等による職員数の減少に伴い、業務の民間委託や臨時職員雇用など、職員人件費から物件費へのシフトが起きており、物件費の割合は増加傾向にある。



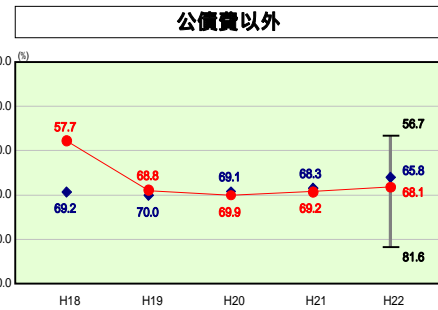
補助費等の分析

経常収支比率における補助費等が類似団体平均を大きく上回っているのは、現在も整備を進めている下水道事業への補助金や、伊那中央行政組合が運営する伊那中央病院への負担金が多額になっているため、市財政の大きな特徴となっている。今後は、負担金・補助金の交付先が適当な事業を行っているのかなどについて検証を行い、適正な事業運営を求めていく。



その他の分析

経常収支比率における「その他」の主なもの、国民健康保険事業会計や介護保険事業会計など他会計への繰出金である。前年度よりも数値は減少しており、類似団体平均も下回っている。今後、独立採算の原則に立ち返った料金の値上げなどによる経営健全化等により、税金を主な財源とする普通会計の負担額を減らしていくよう努める。



公債費以外の分析

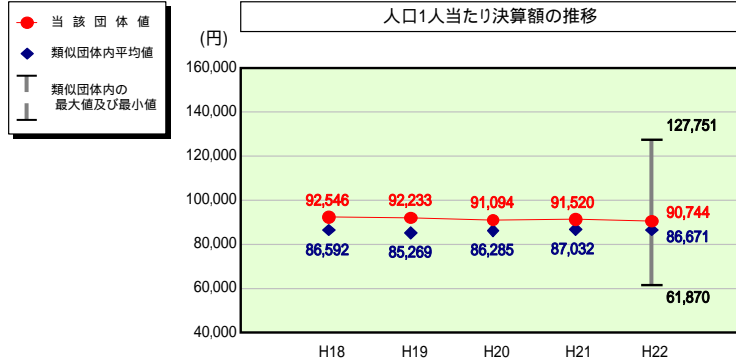
経常収支比率における公債費以外の経費で数値が高いのは、人件費と補助費等があげられる。類似団体平均より2.3ポイント高くなっているのは、補助費等の影響が大きい。公債費や人件費の数値は、ここ数年順調に減少しているため、補助費等の数値を抑制することにより、経常収支比率全体を減少させていきたい。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

長野県伊那市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



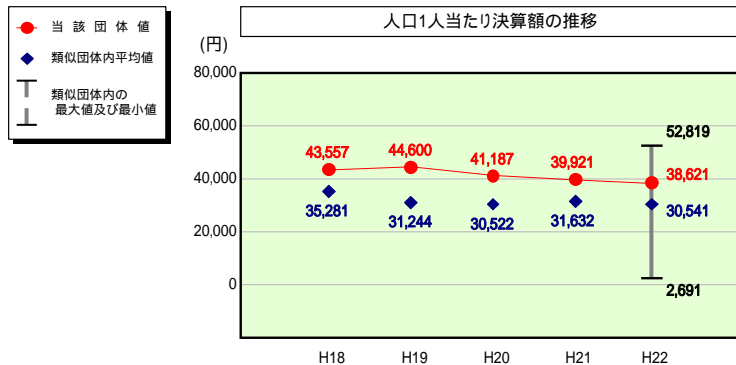
人件費及び人件費に準ずる費用

| | 当該団体決算額 (千円) | 人口1人当たり決算額 | | |
|-------------------------------|-----------------|------------|-----------|-------|
| | | 当該団体(円) | 類似団体平均(円) | 対比(%) |
| 人件費 | 5,264,602 | 75,335 | 76,871 | 2.0 |
| 賃金(物件費) | 864,251 | 12,367 | 5,661 | 118.5 |
| 一部事務組合負担金(補助費等) | 659,219 | 9,433 | 8,256 | 14.3 |
| 公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等) | 41,027 | 587 | 824 | 28.8 |
| 公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金) | - | - | 0 | - |
| 公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金) | 82,859 | 1,186 | 2,741 | 56.7 |
| 事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費) | 97,312 | 1,392 | 1,533 | 9.2 |
| 退職金 | 667,774 | 9,556 | 9,215 | 3.7 |
| 合計 | 6,341,496 | 90,744 | 86,671 | 4.7 |

参考

| | 当該団体 | 類似団体平均 | 対比(差引) |
|-------------------|------|--------|--------|
| 人口1,000人当たり職員数(人) | 8.70 | 8.69 | 0.01 |
| ラスパイレス指数 | 94.3 | 96.9 | 2.6 |

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

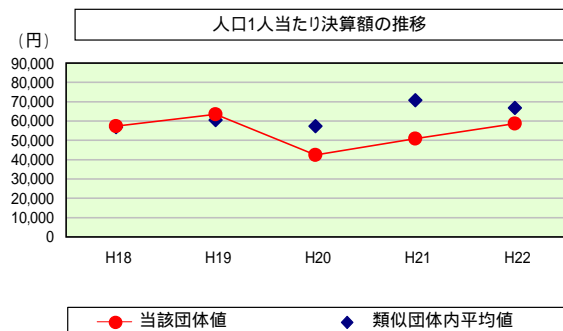


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

| | 当該団体決算額 (千円) | 人口1人当たり決算額 | | |
|--|-----------------|------------|-----------|-------|
| | | 当該団体(円) | 類似団体平均(円) | 対比(%) |
| 元利償還金の額 (繰上償還額等を除く) | 4,364,092 | 62,449 | 55,977 | 11.6 |
| 積立不足額を考慮して算定した額 | - | - | - | - |
| 満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額) | - | - | 81 | - |
| 公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金 | 1,649,744 | 23,607 | 16,332 | 44.5 |
| 一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額 | 744,511 | 10,654 | 4,129 | 158.0 |
| 債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額 | 139,276 | 1,993 | 2,263 | 11.9 |
| 一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く) | 124 | 2 | 9 | 77.8 |
| 特定財源の額 | 299,427 | 4,285 | 3,411 | 25.6 |
| 地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額 | 3,899,354 | 55,798 | 44,838 | 24.4 |
| 合計 | 2,698,966 | 38,621 | 30,541 | 26.5 |

平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

| | 当該団体決算額 (千円) | 人口1人当たり決算額 | | | | |
|---------|-----------------|------------|------------|-----------|------------|---------|
| | | 当該団体(円) | 増減率(%) (A) | 類似団体平均(円) | 増減率(%) (B) | (A)-(B) |
| H18 | 4,087,888 | 57,326 | 24.6 | 56,780 | 0.4 | 24.2 |
| うち単独分 | 2,480,507 | 34,785 | 19.6 | 34,392 | 7.4 | 12.2 |
| H19 | 4,506,156 | 63,443 | 10.7 | 60,510 | 6.6 | 4.1 |
| うち単独分 | 2,144,087 | 30,187 | 13.2 | 33,757 | 1.8 | 11.4 |
| H20 | 3,003,127 | 42,478 | 33.0 | 57,376 | 5.2 | 27.8 |
| うち単独分 | 2,284,020 | 32,306 | 7.0 | 32,650 | 3.3 | 10.3 |
| H21 | 3,579,651 | 50,937 | 19.9 | 70,789 | 23.4 | 3.5 |
| うち単独分 | 2,538,248 | 36,118 | 11.8 | 40,880 | 25.2 | 13.4 |
| H22 | 4,101,787 | 58,695 | 15.2 | 66,876 | 5.5 | 20.7 |
| うち単独分 | 1,917,029 | 27,432 | 24.0 | 36,310 | 11.2 | 12.8 |
| 過去5年間平均 | 3,855,722 | 54,576 | 2.4 | 62,466 | 3.8 | 6.2 |
| うち単独分 | 2,272,778 | 32,166 | 7.6 | 35,598 | 0.3 | 7.9 |